

Q 公平性を考えると、水道料等も平成27年に課税するべきでは？

A 宮口町長

水道料・下水道料については、特別会計で独立採算であるべきもの。その他の課税対象料金については、システム改修等の経済的な負担を考えて、総合的に判断した。

Q 国の医療施策により、地域医療の役割が重要となってきたが、豊頃医院との連携は？

A 宮口町長

国は、団塊の世代の高齢化に伴い、施設介護から、在宅介護へ重きを置く施策の転換をしている。住民が安心して生活出来るよう、医療・保健・福祉と連携したサービスを提供できるよう、院長に事業の展開に協力していただくよう要請していく。

高齢化社会へ対応の福祉ゾーン計画とは！

大谷 友則 議員

Q 計画の基本的な考え方と年次計画は？

A 宮口町長

高齢化が加速しており、福祉目的に沿った土地の利用計画が必要。現在、医療機関、福祉施設等が集中している茂岩栄町を中心と考えている。年次計画については、示せる段階になった時に議会と協議したい。

Q 外郭団体との関わりは？

A 宮口町長

役場福祉課が中心となり、社会福祉協議会、愛生協会、その他民間団体とも協議していく。

Q 福祉ゾーン整備計画はいつごろまで、どの様に策定するのか？

A 宮口町長

計画は、新年度中には完成させたい。

Q 今後、社会福祉協議会が大きな役割を担うことになるが、財政的、人材的な支援をしていくべきでは？

A 宮口町長

将来を考えると、人的支援をしていきたい。

Q ボランティアの育成で、自分も利用できるポイント制を考えては？

A 宮口町長

みんなが関心を持てるような取り組みを考えていきたい。

Q 福祉協議会が移った後の保健センターの活用は？

A 宮口町長

保健指導等、今まで以上に保健センターとしての使命を果たすよう利活用していく。

Q 今、示されている計画には、民有地の取得もあるが？

A 宮口町長

計画書が正式に出来た段階で判断していく。使っていない民有地は福祉向上のために利用したい。

Q 民有地の取得が頓挫したときに、この計画はどうなるのか？

A 宮口町長

民有地取得は相手があることなので、必ず取得できるとは限らないが、不整備に終わっても福祉ゾーンの計画は進めていきたい。

津波時に避難できるのか！

長谷川 勝夫 議員

Q 大津地区津波避難について、どう考えているのか？

A 宮口町長

1月28日、津波避難計画説明会を実施。併せて、防災行政無線ラジオ

と避難計画書の各戸配布を行った。特に、高齢者の方に理解を深めていただき、人命を失うことが無いように避難行動をとっていただきたい。

Q 説明会を実施し、どの様に感じたか？

A 山本総務課長

32名の参加で、周知不足だった。今後も、いろいろな集まりで積極的に説明していく。

Q 津波注意報、警報、大津波警報で、避難場所が違うが、いざというとき、スムーズに避難出来るのか？

A 山本総務課長

注意報とライフラインが途絶えたときにはコミセンに、警報以上の場合には、より安全な場所へと、地域と協議して避難場所を指定した。

Q 築山、国道横避難場所は建物も無く、冬期間の避難には厳しいと考えるが？

A 山本総務課長

命を守るための緊急避難場所と考えている。車の駐車スペースも確保されており、とりあえずは車で暖をとっていただくことを想定。備品等の整備は、地域の方と協議しながら進めていく。

ない。

Q セカンドオピニオンを受けたいと言ったところ、それには応じられないと言われた話を聞いているが、それで地域医療が成り立つのか？

A 宮口町長

町民の不満については、院長と話し合いながら、今後の運営について協議していきたい。

Q 投票がメーカー指示と違っていた、セカンドオピニオンの件等、町民の不満の声を多く聞くが？

A 宮口町長

投票の件については、専門的知識が無いので何も言えないが、町民の不満の声は聞いているので、今後の医院運営を含めて院長と話しを重ねていきたい。

Q 地域医療について、町民の不安が大きくなっているのでは？

A 宮口町長

町民の不満の声が大きくなれば、いつかの時点で別な対応も考えなければならぬが、無医村になると町民の不安が更に大きくなることを考えると、医者との摩擦は避けたい。今後、地域医療に町民が不安・不満を持たない様、院長と協議を重ね町立医院の運営をしていきたい。

有料ゴミ袋の強度に問題が！
長谷川 勝夫 議員

Q ゴミ袋が変更になり、以前より裂けやすいのでは？

A 宮口町長

平成17年からゴミ有料化によりゴミ袋を指定。ポリエチレン製のゴミ袋を採用したが、強度に難があったため、平成24年3月に新しい材質に変更したが、強度に苦情があり、平成25年2月に更に新しいものに変更

している。

Q 現在、苦情は無いのか？

A 吉村住民課長

11月広報にて新しいゴミ袋を周知。在庫がなくなったものから切り替えており、その後、苦情は無い。



豊頃町指定ゴミ袋

我が町の地域医療に不安はないのか！

杉野 好行 議員

Q 昨年9月議会で質問した医院長住宅の管理・使用料徴収について、その後の様な経過になっているか？

A 宮口町長

昨年11月に、書面により今後の運営等について協議書を出し、その後

面談により協議した。現在、院長は町外から通勤しているが、休憩等に使用しており、招致の条件でも無料貸与としており、住宅使用料の徴収はしない考え。

Q 高齢者人口が増える中、夜間、医者がいない地域医療の在り方についてどう考えるか？

A 宮口町長

現院長は、家族の都合で町外から通勤しており、夜間の対応ができないのが現状。緊急の場合は近隣町村の医療機関を利用しており、その旨も院長と協議をした。町としては、無医村になると住民の不安は更に大きくなるので、何としてもそれだけは避けたい。現院長との委託契約は平成26年度末となっており、町民本位の医療を念頭におきながら院長と協議して豊頃医院の運営をしていきたい。

Q 医院長住宅には事務長が入居しており、公有財産の又貸しになるのでは？事務長には別の住宅に移ってもらうべきでは？

A 宮口町長

管理面で事務長が居住しているが、院長の所有物も置いてあり、契約時の条件でもあるので、やむをえ